



館長だより

山形県産業科学館

令和 6 年 6 月 4 日 (火)

発行 館長 加藤 智 一

映画「関心領域」

5 月 29 日 (水) 朝日新聞 天声人語より

山形では 6 月 7 日 (金) 公開の映画、「関心領域」。
第 96 回アカデミー賞受賞作品の話題の映画です。

アウシュビッツ収容所の所長だったルドルフ・ヘス一家を描いたホロコースト映画です。簡単に内容を述べると、収容所とは壁を隔てた隣にある邸宅。煙突から黒煙が上がるのも見えるし、悲鳴や銃声も聞こえる。それでも一家は何事も起きていないかのように暮らし、囚人の物だった毛皮のコートを着て、ポケットに入っていた口紅まで付ける妻。金歯を集めて遊ぶ子ども達。ヘスは戦後捕らえられ、絞首刑となったが、手記には、「ガス室や火葬に立ち会っていると、しきりに妻や子供たちのことを思い出されたが、それが眼前の光景にどうしても結びつかなかった。」と述べています。

今のロシアとウクライナの戦争はどうか。ドローンが大量に投入され、遠くからミサイルが飛んでくる。当然遠隔操作で、誰が操作しているかわからないが、一発で沢山の人が犠牲になる。

また、近年中国やアメリカでは、犬型ロボットに機関銃を搭載し、これもまた遠隔操作で大勢の人間を殺傷できる兵器の開発が進んでいるとか。「血が通っていない戦争」という言い方もおかしいが、何の罪悪感もなく、ゲーム感覚で、大勢の人間の命を奪うことに、現実社会の乾いた地獄を見る思いです。



ロコモティブシンドローム

産業科学館の隣には、山形市の保健所があり、

そのせいか、3階フロアには「ご自由にお取りください」のチラシコーナーがあります。そこで目に留まったのがこのフレーズ「脱ロコモシンドローム」。なにに、骨、関節、筋肉といった運動器の機能が低下し、要介護につながる可能性が高い症状をいいます！健康長寿安心やまがた推進本部の資料によれば、要介護や寝たきりになる原因には、①ロコモ（関節疾患、転倒、骨折）21.7% ②脳血管疾患（脳卒中）20.1% ③認知症 15.8% 私は関係ないと思ったそこのあなた、以下のロコモ危険度チェックを見てみなさい。

- ① 家の中でつまずいたり滑ったりする
- ② 片脚立ちで靴下が履けない
- ③ 15分間歩き続けるのが難しい
- ④ 横断歩道を青信号の間に渡りきれない
- ⑤ 階段を上るのに手すりが必要だ
- ⑥ 2kg程度の買い物を持ち帰るのが難しい
- ⑦ 重労働の家事が困難である



以上の質問項目の内、①～②に思い当たる人は、ご注意あれ、バランス能力が低下している証拠です。③～⑦に思い当たる人は、筋力が低下しています。残念ながらこの私、週に一度のコール・マイゼンラジオ体操ですら、まともに腰を伸ばしたり、前屈したりができない体になってしまいました。これはすでにロコモか？どうしたらいいでしょう。とりあえず、関節に過剰な負荷をかけないように、自転車通勤かな。そんなんじゃ骨や筋肉を鍛える全身運動にはならないか。電動だし。